

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	03	03	0402	大迫中学校校舎改築事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-2	学校教育の充実			
	施策	4	教育環境の充実			
目的	学校施設の環境整備					
対象	大迫中学校施設					
意図	学校の適正規模を見通し、安全・快適な教育環境を提供する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○大迫中学校校舎等改築 26年度～ 用地・現況測量 27年度～ 基本設計、地質調査、実施設計、屋外環境実施設計 28年度～ 第1工区造成、校舎改築（29年度まで） 29年度～ 屋体・校舎・格技場解体、第2工区造成 30年度～ 屋体改築、第3工区造成 31年度～ 屋外環境、クラブハウス等整備						
市民参画の有無 [有 関係団体等からの意見聴取]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 基本設計	%		計画			
			実績			
② 校舎改築進捗率	%		計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 耐震改修済中学校数	校		目標	11	11	
			実績	9	9	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
湯口中学校及び大迫中学校については、耐震改修ではなく改築により対応することとした結果、校舎改築の事業完了年度が平成28年度以降となるため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・学校の設置については、教育基本法に基づき市が設置者となり行うものである。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・市内全学校施設を耐震化するため計画的な改築を行っている。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・シンプルな構造を基本にしながら学校施設としての機能を確保することとし、事業費の削減に取り組んでいる。 ・大型の新規追加事業であり人員の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・学校施設の改築については、市が主体的に行うものである。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
改築することを前提に大規模な修繕等を実施しなかったことから、安全確保のために早期に改築を進める必要がある。また、生徒数の減少が今後進んでいくことを踏まえ、将来を見越した設計とする。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	10	03	03	0402	大迫中学校校舎改築事業

単位：千円

		25年度決算額(A)	26年度決算額(B)	27年度現計予算額	決算額前年比(B-A)
事業費			5,291		5,291
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		5,291		5,291

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 26 年度 ~ 平成 31 年度]
------	-------	------	-----------------------

部重点施策における目標
夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯
大迫中学校は、昭和43年に建築された学校であり建築後45年が経過し、老朽化が著しい状態であること、改築を前提としていることから耐震補強を行っていないため安全確保のため早期に状況を改善したい。

事業概要
○大迫中学校校舎等改築
26年度～ 用地・現況測量
27年度～ 基本設計、地質調査、実施設計、屋外環境実施設計
28年度～ 第1工区造成、校舎改築(29年度まで)
29年度～ 屋体・校舎・格技場解体、第2工区造成
30年度～ 屋体改築、第3工区造成
31年度～ 屋外環境、クラブハウス等整備

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
・同一敷地内で改築を行うことから、学校活動に配慮しながら事業を進める必要がある。
・学校施設として使用しなくなった場合に、他の用途に改修しやすい構造に配慮する。

担当部署 部名 教育部 課名 教育企画課 担当係長 白藤 清和 内線 9-30-322

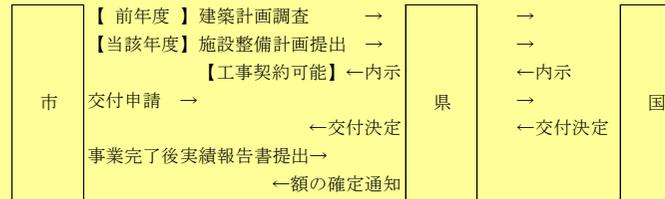
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

大迫中学校校舎改築事業

●事業概要
校舎：RC造2階建 3,027㎡(給食センター200㎡含む) / 建築単価見込≒306,253円/㎡
屋体：S造2階建 1,562㎡(柔剣道場400㎡含む) / 建築単価見込≒258,954円/㎡

●財源
★環境改善交付金(危険改築)事業 補助基準額×5.5/10(過疎)、過疎債100%



●事業費見込み

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	計
現況測量・用地測量	5,291						5,291
基本設計		21,800					21,800
地質調査		6,588					6,588
実施設計(校舎等)		60,304					60,304
屋外環境実施設計		4,669					4,669
補助監理			17,174	7,360	2,000	2,000	28,534
第1工区(西側)造成工事			25,000				25,000
市道・水路切替工事					70,000		70,000
校舎改築工事			648,920	278,108			927,028
給水・下水道接続工事				7,700	3,300		11,000
解体工事		9,450		143,700			153,150
屋内運動場改築工事					404,487		404,487
屋外環境整備工事						80,000	80,000
自転車置場・駐車場等整備工事						40,000	40,000
クラブハウス・屋外トイレ改築工事						77,000	77,000
屋外付帯工事(第2工区造成)				49,000			49,000
太陽光発電設置工事						28,000	28,000
屋外照明設置工事						28,000	28,000
学校・体育備品整備				45,000			45,000
建築確認等手数料		740	215	263	243	129	1,590
開発行為関係手数料		510					510
備品等移設業務			2,000	3,000	500		5,500
その他			2,003	2,903	2,412	2,403	9,721
合計	5,291	104,061	695,312	537,034	482,942	257,532	2,082,172
国庫			184,222	157,986	159,632	6,265	508,105
起債(地方債)		31,800	506,800	327,800	250,100	248,700	1,365,200
一般財源	5,291	72,261	4,290	51,248	73,210	2,567	208,867